

新型コロナウイルス感染症サーベイランス週報: 発生動向の状況把握

2023年第20週(2023年5月15日~2023年5月21日)

Week 20, 2023

本週報は、全国の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の発生動向を、複数の指標を用いて精査し、まとめています。週ごとに「傾向(トレンド)」と「水準(レベル)」を明記し、感染の流行の状況について、解釈を行っています。地方自治体等の COVID-19 対策に従事する皆様や国民の皆様に、広く COVID-19 に関する疫学情報を提供・還元することを目的としており、COVID-19 対策の参考として活用していただければ幸いです。なお巻末に週報に関する注意事項を記載してあります。直近の情報については、過小評価となる場合などもあるのでご注意ください。

2023年5月8日より COVID-19 が感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)上の 5 類感染症に位置付けられました。COVID-19 の発生動向を重層的に把握する一環として、インフルエンザ/COVID-19 定点から報告された患者数に加えて、医療機関等情報支援システム(G-MIS: Gathering Medical Information System)に報告された入院患者数等の集計、及びゲノムサーベイランスの結果を報告します。

まとめ:

2023年第20週(5月15日~5月21日)における定点当たり報告数は 3.56 (報告数 17,489 人)であり、前週(5月8日~5月14日)に比較して増加した。都道府県別にみると定点当たり報告数は 1.55~10.8 であり、沖縄県が最も多かった。

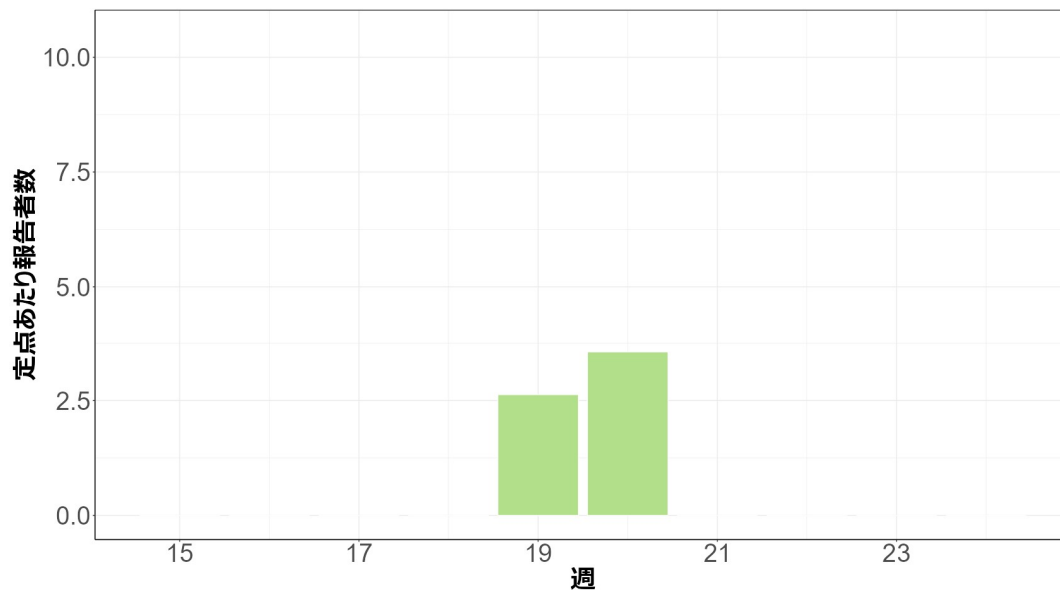
全国の新規入院患者数は 3,352 人で、前週と比較して 863 人増加した。地域ブロック別にみると多くのブロックで増加しており、前週と比べて高い順に近畿、関東、東海、東北、九州地方などであった。第 20 週の ICU 入院中の患者数の 7 日間平均は 51 人であった。ECMO または人工呼吸器管理中の患者数は 24 人で、前週に比較して増加した。第 18 週(5月1日~5月7日)の民間検査機関のデータによるゲノムサーベイランスでは、XBB.1.16 系統が 14.5%と最も多かった。

1. 全国の状況

1.1. 全国の定点当たり報告数

2023年第20週(5月15日～5月21日)における定点当たり報告数は3.56(患者報告数17,489)人であった(図1)。前週(5月8日～5月14日)の定点当たり報告数2.63よりも増加した。

図1:全国の定点医療機関から報告されたCOVID-19の定点当たり報告数

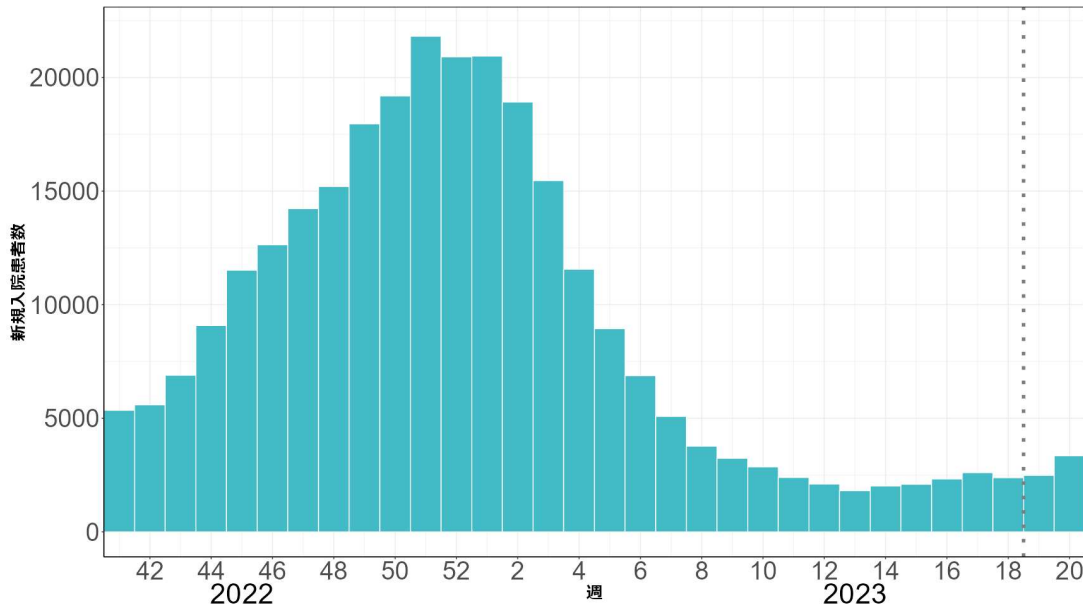


出典:感染症発生動向調査(2023年5月24日現在, データ範囲:2023年5月8日～2023年5月21日))

1.2. 全国の G-MIS に報告された新規入院患者数

2023 年第 20 週に報告された新規入院患者数は、3,352 人であり、前週と比較して 863 人増加した(図 2)。

図2:G-MIS に報告された新規入院患者数



出典:医療機関等情報支援システム(G-MIS)(2023年5月30日現在, データ範囲:2022年10月3日~2023年5月21日)

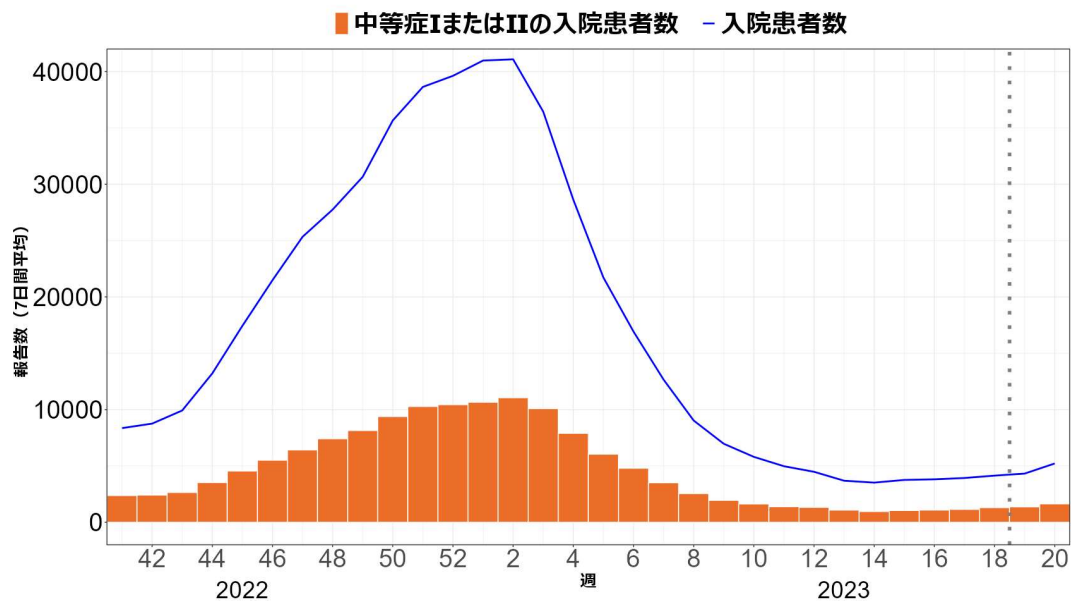
注)2023年5月8日に5類移行後は入院動向が変化する可能性があり、注意が必要である。破線は新型コロナウイルス感染症が感染症法の5類に移行した5月8日を含む第19週を示す。

1.3. 全国の G-MIS に報告された入院患者数、中等症 I または II の入院患者数、ICU 入院中の患者数、ECMO または人工呼吸器管理中の患者数

2023 年 5 月 30 日に報告されている第 20 週における入院患者数の 7 日間平均は 5,217 人であり、前週と比較して 897 人増加した。中等症 I または II の入院患者数の 7 日間平均は 1,632 人であり、前週と比較して 263 人増加した(図 3A)。

また ICU(Intensive Care Unit)入院中の患者数の 7 日間平均は 51 人であった。前週と比較して 7 人増加した。ECMO(Extracorporeal membrane oxygenation)または人工呼吸器管理中の患者数の 7 日間平均は、24 人であり、前週と比較して 5 人増加した。(図 3B)。

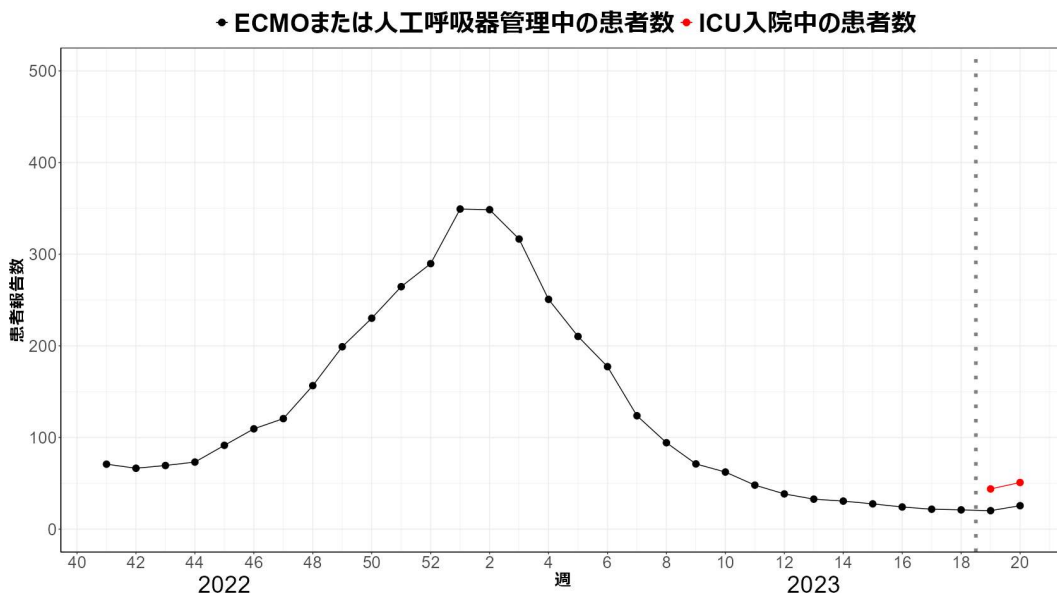
図 3A:G-MIS に報告された入院患者数及び、中等症 I または II の入院患者数の 7 日間平均



出典:医療機関等情報支援システム(G-MIS)(2023年5月30日現在, データ範囲:2022年10月3日~2023年5月21日)

注)2023年5月8日に5類移行後は入院動向が変化する可能性があり、注意が必要である。破線は新型コロナウイルス感染症が感染症法の5類に移行した5月8日を含む第19週を示す。

図 3B:全国の ICU 入院中の患者数及び、ECMO または人工呼吸器管理中の患者数の 7 日間平均



出典:医療機関等情報支援システム(G-MIS)(2023年5月30日現在, データ範囲:2022年10月3日~2023年5月21日)

注)ICU 入院中の患者数については、2023 年5月8日以降は独立した項目として報告が行われているが、5月7日以前は「ICU 入院中の全患者数」と「ICU 入院中の新型コロナウイルス感染症以外の患者数」の2つの項目として報告されており、定義が異なっている。破線は新型コロナウイルス感染症が感染症法の 5 類に移行した 5 月 8 日を含む第 19 週を示す。

1.4. 全国の年齢群別定点当たり報告数

2023 年第 20 週にインフルエンザ/COVID-19 定点から報告された患者数は、17,489 人であった。年齢群別の報告数を表 1 に示す。報告数の前週比は 1.35 であり、年齢群別にみると 0-14 歳は 1.43、15-59 歳は 1.29、60 歳以上が 1.44 であり、全ての年齢群で増加した。

表1:全国の年齢群別患者報告数

年齢群	報告数 (人)	前週症例報告数 (人)
0-14 歳	4,507	3,150
15-59 歳	9,099	7,071
60 歳以上	3,883	2,701
計	17,489	12,922

出典:感染症発生動向調査 (2023 年 5 月 17 日現在)

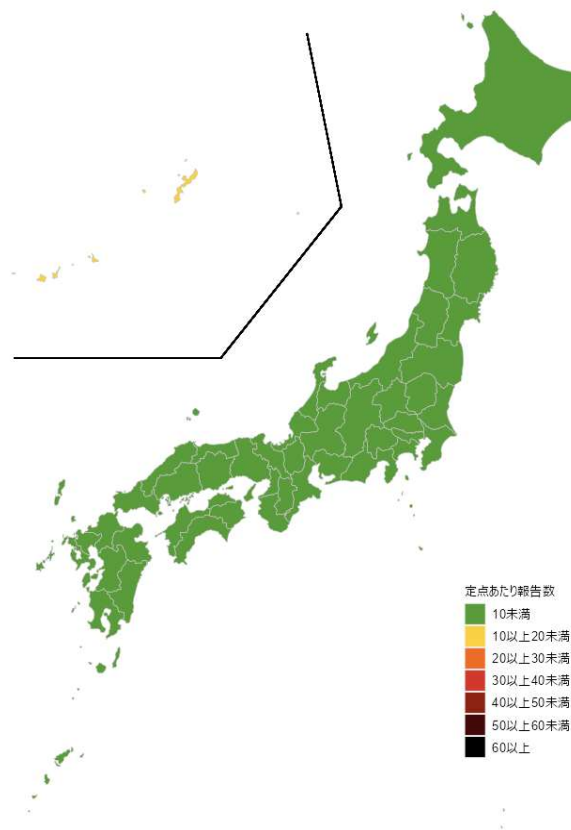
2. 地域別の状況

2.1. 地域別の定点当たり報告数及び新規入院患者数

第 20 週の都道府県別の定点当たり報告数は、1.55～10.8 であった(図 4)。沖縄県が最も高く 10.8 であり、次に定点当たり報告数が多かったのは石川県で 6.38 であった。

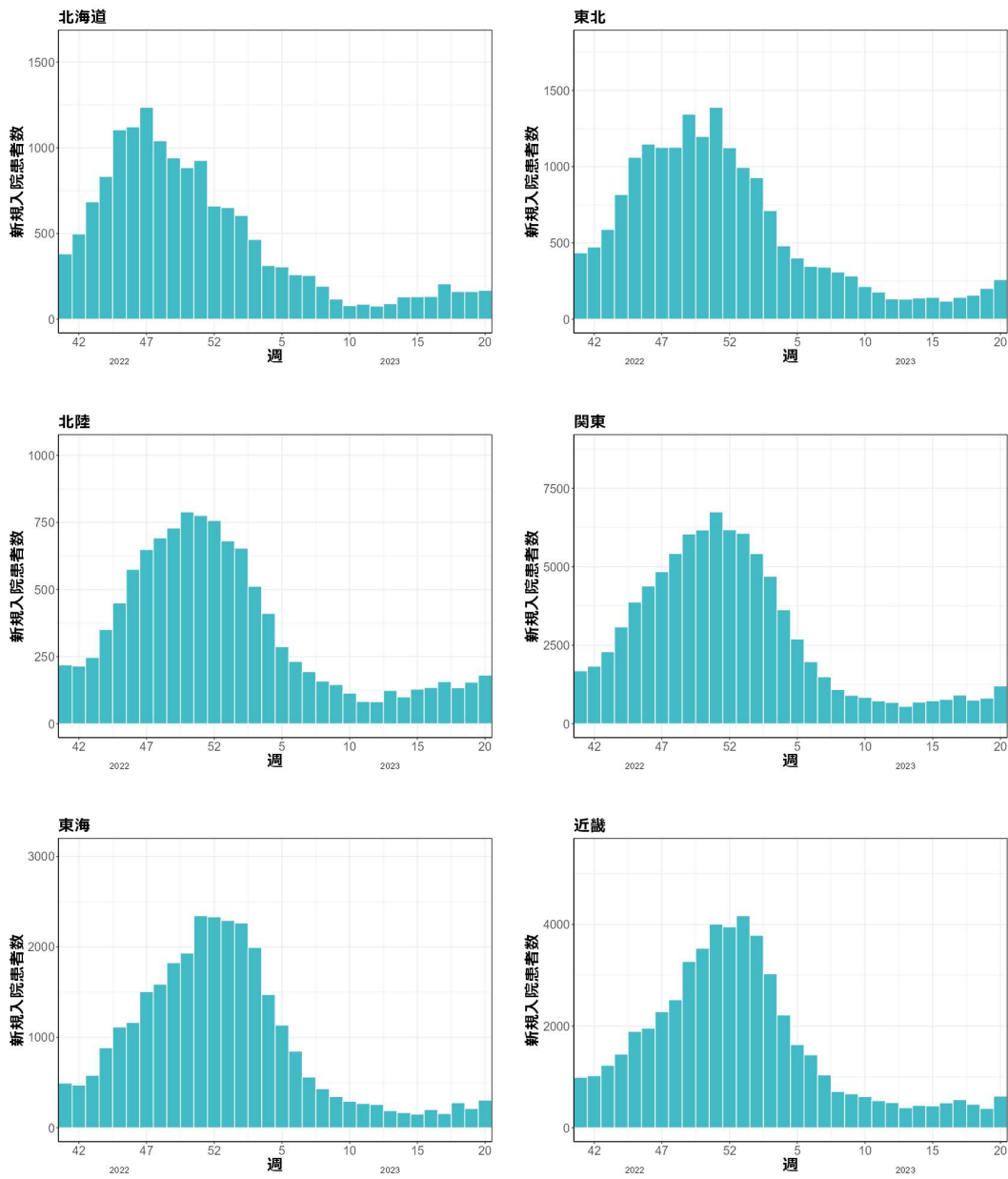
地域別の新規入院患者数では、第 20 週に最も患者数が多かったのは関東地方で 1207 人であり、次いで近畿地方で 623 人であった(図 5)。沖縄県を除いた地域では、第 8 波と比較して低い水準である。北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、四国、九州地方で前週よりも多く報告された。

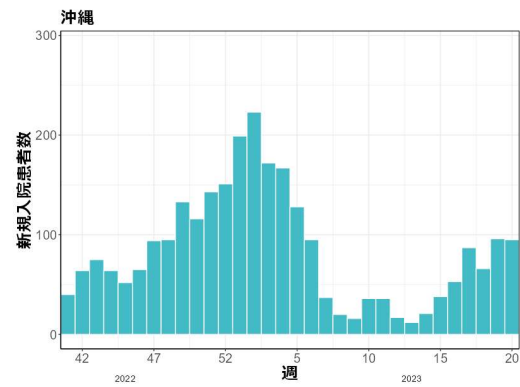
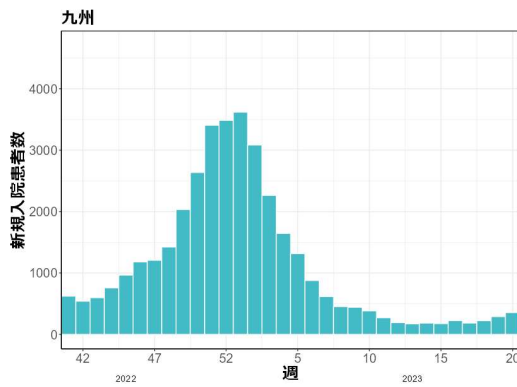
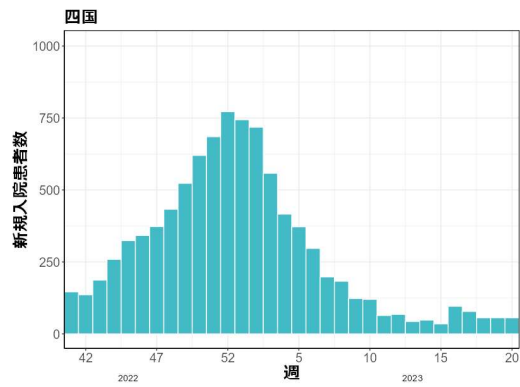
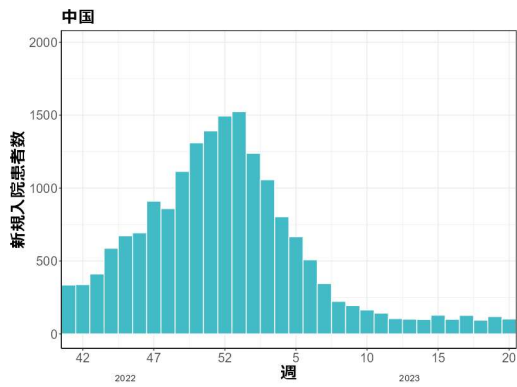
図 4: 都道府県別定点当たり報告状況



出典: 感染症発生動向調査 (2023 年 5 月 24 日現在)

図 5:地域別に報告された新規入院患者数





出典:医療機関等情報支援システム(G-MIS)(2023年5月30日現在, データ範囲:2022年10月3日~2023年5月21日)

3. SARS-CoV-2 ゲノムサーベイランス

2023 年第 18 週(注意:上のセクションと異なる)に民間検査機関(580 検体中)で検出された、XBB.1.16 系統は、84 検体(14.5%)であり、XBB.1.5 系統は 49 検体(8.5%)であった(表 2)。民間検査機関データを用い、多項ロジスティック回帰モデルにより将来の亜系統検出割合を推定したところ、各亜系統の検出割合は、第 23 週までには XBB.1.16 系統(下位系統を含む)が上昇傾向、XBB 系統(下位系統を含む)が横ばい、XBB.1.5 系統(下位系統を含む)が低下傾向、XBB 系統(下位系統を含む)が横ばいと推定された。多項ロジスティック回帰モデルでの推定であることから、信頼区間が亜系統によっては広いことに注意する必要がある。今回はデータベースの更新に伴い、2023 年第 9 週-18 週のデータを用いて再解析を行い、暫定的な推定を実施した。今後、第 1-8 週のデータも再解析し、暫定的な推定を行う予定であり、推定値が大きく変化する可能性がある(図 6)。

表 2:民間検査機関からの検体に基づく亜系統検出

Pango lineage (Nextclade 2.14.1)	検体数 (第18週)	割合
BA.2	57	9.83%
FK.1.1	21	3.62%
CJ.1.3	8	1.38%
FR.1	7	1.21%
Others	21	3.62%
BA.5	37	6.38%
BF.7.15	8	1.38%
Others	29	5.00%
その他	486	83.79%
XBB.1.16	84	14.48%
XBB.1.5	49	8.45%
XBB.1.9.1	46	7.93%
XBB.1.16.1	41	7.07%
XBB.2.3.2	22	3.79%
FL.4	21	3.62%
EG.1	20	3.45%
FL.2	18	3.10%
XBB.1.16.2	17	2.93%
XBB.1.9.2	13	2.24%
XBB.2.3	11	1.90%
FL.5	8	1.38%
EG.2	8	1.38%
XBB.1.5.24	7	1.21%
XBB.1.5.42	7	1.21%
XBB.1.31	6	1.03%
XBB.2.3.3	6	1.03%
Others	102	17.59%
総計	580	100.00%

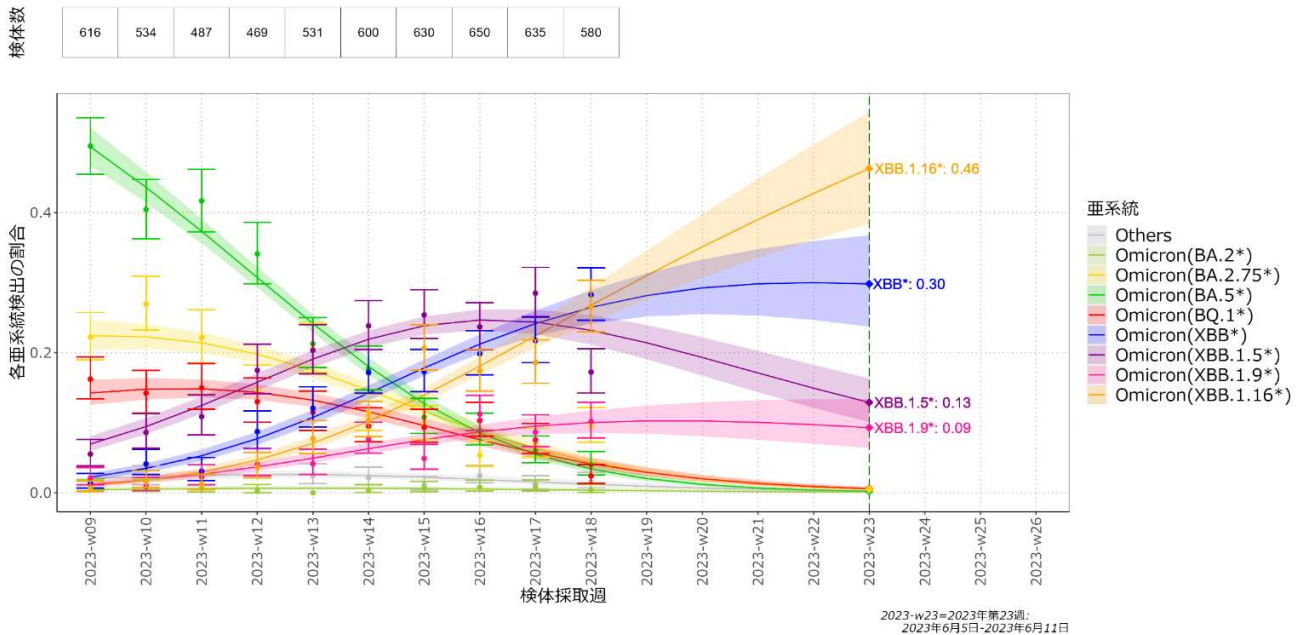
出典:民間検査会社 2 社から提供されたゲノムデータ

注)※検出割合が1%未満の lineage (“Others”)については lineage 名省略。検出割合が高い lineage (上位3位)は赤字で示す。システムの改修あるいは選定基準変更に伴い、データ総数が変わる可能性がある。Others に内訳については今後変更する可能性あり。

lineage の定義については以下のサイトのリストを参照。

https://cov-lineages.org/lineage_list.html

図 6:民間検査機関からの検体に基づく亜系統検出割合の推定(暫定版)



出典:民間検査会社 2 社から提供されたゲノムデータ

注) データベースの更新に伴い、2023 年第 9 週-18 週のデータを用いて再解析を行い、暫定的な推定を実施。今後、第 1-8 週のデータも再解析し、暫定的な推定を行う予定であり、推定値が大きく変化する可能性がある。点は検体採取週ごとの亜系統の検出割合、バーは 95%信頼区間の上限と下限を表す。亜系統が占める割合の推定を各色ライン、95%信頼区間を淡色帯で示す。

Omicron(BA.2*)は BA.2.12.1*、BA.2.75*を除く。Omicron(BA.5*)は BQ.1*を除く。Omicron(XBB)は XBB.1.5*、XBB.1.16*および XBB.1.9*を除く (*下位系統を含む)。

週報に関する注意事項

サーベイランス指標としての入院例、中等症・重症例は、報告に遅れの時間差はあるが、軽症例・無症候例と比較して、受診行動、検査対象の変化によるサーベイランスバイアスをより受けにくい。複数の指標を用いて状況・疫学の変化を迅速に捉え、リスク評価と適切な対応につなげることが重要である。

感染症発生動向調査では、インフルエンザ／COVID-19 定点としてあらかじめ指定された医療機関から週単位で報告される患者数について、全国及び都道府県ごとに集計した数値を用いている。都道府県別の定点当たり COVID-19 の報告数については感染症発生動向調査週報 (IDWR) を参照されたい。

インフルエンザ／COVID-19 定点は、小児科定点が内科定点に比べ、多く選択されている。このため報告数は小児に偏ることから、定点から報告された COVID-19 症例に占める各年齢群の割合については、この点を考慮する必要がある。一方、経時的な流行全体の傾向(トレンド)と水準(レベル)の把握、年齢群毎の傾向と水準の評価の観点においては影響を与えない。

入院データでは、G-MIS における「入院中の新型コロナウイルス感染症患者数」のうち、新規入院患者数は「うち新規入院」、中等症 I または II は「うち、中等症 I の患者数(呼吸不全なし)」と「うち、中等症 II の患者数(呼吸不全あり)」をあわせたもの、ICU 入院中の患者数は「うち ICU 入院中の患者数」、ECMO または人工呼吸器管理中の患者数は「うち人工呼吸器管理中(ECMO なし)の患者数」と「うち ECMO 管理中の患者数」をあわせて集計している。また、新規入院者数は日次集計、入院患者数、中等症 I または II の患者数、ICU 入院中の患者数、ECMO または人工呼吸器管理中の患者数については7日間平均値を算出し集計している。なお、中等症 I は呼吸不全なしと医師が診断したものであり、中等症 II は、呼吸不全があり酸素投与を要すると医師が診断したものである(参考:「新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き 第 9.0 版」)。集計には G-MIS に報告されたデータのうち第 20 週は集計日時点のデータを、それ以前は 2023 年 5 月 16 日時点のデータをそのまま用いており、遅れて報告されたり、修正されたりする可能性があるため集計値は暫定値であることに注意が必要である。

地域の定義

北海道

東北地方: 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東地方: 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県

北陸地方: 新潟県、富山県、石川県、福井県

東海地方: 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿地方: 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国地方: 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国地方：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州地方：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

沖縄県

参考サイト

国内の発生状況など

https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html#h2_1/

新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 関連情報ページ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/covid-19.html>

自治体・医療機関向けの情報一覧(事務連絡等)(新型コロナウイルス感染症)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00088.html

医療機関等情報支援システム(G-MIS)関連ページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00130.html

感染症発生動向調査 週報(IDWR)ページ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

SARS-CoV-2 変異株について

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2624-flu/12055-flu2-1-1.html>